

情報共有、参画の取り組みの検証の進め方について

1 検証の目的

市政・まちづくりにおける、市民参画・協働を推進していくために、その前提条件となる「情報共有」の取り組みを中心に検証し提言するもの。

なお、本市では、市民参画の取り組みを推進するための実施方針（P I の実施方針・マニュアル）を策定しているが、平成26年度に、このP I マニュアルを見直すこととしており、今回の検証は、この見直しにも活用されるものとする。

2 これまでの検証の経過

●第1期自治推進委員会（H22-H23）

【開催回数】 6回

【検証方法】

カテゴリーの異なる9事業を抽出し、担当課からのヒアリング調査を行いながら、情報共有、参画、協働の取組の検証を行い、現状における課題を整理した。

【答申内容】

情報共有・市民参画・協働が形式的に行われているため、「質」の向上に努める。市民が市政・まちづくりに参画・協働して取り組む風土をつくる。

●第2期自治推進委員会（H24-H25）

【開催回数】 6回

【検証方法】

情報共有、参画、協働の取り組みが上手くいっている2事業を抽出し、担当課からのヒアリング調査や現地での視察調査を行いながら、その要因分析と他の取組への応用について整理した。

【答申内容】

区役所機能の特性を生かした効果的な住民との協働の取り組みを、他の分野へ波及させること。

多様な主体が補完しあうようなネットワークを地域コミュニティに築き、まちづくりを進めていくことが必要。その為には、「対等にお互いを理解すること」、「課題・目標を共有すること」、「ネットワークをマネジメントすること」が重要。

3 検証の方法及び日程

別添、自治推進委員会の検証スケジュール（事務局案）【資料2】のとおり。